

第 34 回信託研究会 議事要録

日時：2020 年 8 月 8 日

場所：大屋事務所

出席者：今井、黒田、大屋（議事録作成者）

◆検討事項

1. 知的財産権の信託利用の検討

（1）知的財産権の紛争について、

これまでにおいて、知的財産権の譲渡や報酬問題については訴訟となるなど、多く存在するが、医療の分野では、小野製薬と本庶教授との争いが有名である。

内容的には、技術特許をめぐるライセンス契約においてライセンス料や成果報酬での齟齬が主な争点であろう。今後、内容を精査していく。

（2）知的財産権の移転の事例

工業的特許に関しては、開示された特許だけでは製品化することは困難で製造のノウハウ移転が不可欠であり、その移転には数年規模にわたることも考えられることから、契約だけでは不安な場面も存在するようである。

そこで、特許保持者と特許利用者の意向を最大限に尊重し、移転をスムーズに行うために、信託の利用を検討してみる。

2. その他

（1）医療機関併設の社会福祉法人の譲渡について

（2）公正取引委員会調査による転嫁消費税の是正金額に関する消費税申告及び法人税申告の理論的対応及び実務的対応について

3. 課題

以下のように、各人の課題が与えられた。

今井研究員：知的財産権移転に関するこれまでの紛争事例の精査、事例の整理

黒田研究員：事例の整理

大屋研究員：知的財産権の概要の整理

次回は 2020 年 9 月 12 日（土）10 時より。場所は未定。

